

子どもの思考の流れを予想し、
見える化しましょう。その上で、
☑つまずきに応じた教師の支援
☑さらに考えを深めていけるようにするための
教師の支援を具体的に描きましょう！



教師の支援
の描き方(例)

実践例 小学校 6年「比例と反比例」②考えを再構築する

白:子どもの思考

青:子どもの状態

緑:教師の支援

問題を把握する。

課題: グラフから読み取って問題を解決するには、どこに着目したらよいかを考えよう。

(1)

課題一まとめ
の骨組みを
描く

考えの一步が踏み出せずに立ち止まっている子

①AさんとBさんでは、どちらが速いかわからない。

AさんとBさん、同じ時間で、どちらがたくさん進んでいるかな？

AさんとBさんでは、Bさんのほうが速い。

解釈

③出発してから5分後に、AさんとBさんが何m離れているかわからない。

②の問題と同じように考えられないかな？

出発してから5分後のAさんとBさんの地点は、グラフのどの点に表れている？

出発してから5分後に、AさんとBさんは400m離れている。

②1400mの地点をBさんが通過してから、Aさんが通過するまでの時間が分からない。

Bさんが1400mの地点にいることは、グラフのどの点に表れている？

Bさんは何分だと読み取れるかな？

同じようにAさん进行ると？

1400mの地点をBさんが通過してから、Aさんが通過するまでの時間は2分。

解釈

(2)

子どもの思考の流れを具体的に予想する

答えを求めているが、根拠があいまいな子

①AさんとBさんでは、Bさんのほうが速い。

AさんとBさんの速さはそれぞれ毎分何m？

1分間で何mずつ進んでいるかな？

1分に何mずつ進むかをグラフから読み取れば速さが分かるから、Aさんは、毎分200m、Bさんは毎分280mの速さで進む。だから、Bさんのほうが速い。

根拠

②通過するまでの時間は2分。 ③400m離れている。

どの値に着目したの？

答えはどんな式で求められたの？

どうしてそのような答えになったか説明できるかな？

AさんとBさんのグラフから、yの値が1400のときの、xの値を読み取ると、Aさんは7で、Bさんは5だから、 $7-5=2$ でBさんが通過してから2分後にAさんが通過することが分かる。

AさんとBさんのグラフから、xの値が5のときの、yの値を読み取ると、Aさんは1400で、Bさんは1000だから、 $1400-1000=400$ で2人は400m離れていることが分かる。

根拠

(3)

つまずきに応じた教師の支援を考える

根拠が明確になっているが、まとめ(結論)に至っていない子

問題を解決できたから、追究は終わりで。

課題に対するまとめを書いてみよう。

要するに、どういうことが大切？

統合

問題を解決できたけど、課題のまとめが分からない。

グラフのどこに着目したら分かったの？

その数は、グラフのどこに表れているかな？

解釈

課題に対する結論

・グラフがどれだけ急になっているかに着目して、速さを求めるために、1分間に何mずつ進んでいるかを読み取る。
・2つのグラフの開き具合に着目して、値の差を読み取る。

結論を出して止まっている子

同じように進むとすると、出発してから10分後には、AさんとBさんは、どれだけ離れていますか？

グラフがかかれていない値を調べないといけないから、読み取ることができない。

「同じように進むとすると」と書いてあるけれど、グラフはこの後、どうなっていくのかな？

グラフの直線を伸ばして考えればよさそうだ。

発展

さらに考えを深めていける子

他にもグラフから読み取れそうなことはないかな？

新たな問題をつくってみよう。

問題ができた仲間と取り組んでみよう。

結論にさらに付け加えられることはありそう？

グラフに表されていない値のことにしてもまとめられそう。

発展

統合

統合

結論をさらにまとめ直すことはできるかな？

課題に対する結論

グラフがかかれていない値を調べたいときも、「同じように進む」ということは、グラフが直線に伸びていくことだということに着目して、グラフを伸ばして、その値を読み取ればいい。

学びを振り返る

(5)

さらに考えを深めていくための教師の支援を考える